

# 一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会 理事長の職務執行状況報告

(平成 28 年 7 月 25 日～平成 28 年 10 月 24 日)

平成 28 年 10 月 17 日開催の第 1 回理事会においても職務執行状況報告をいたしました。が、一般財団法人設立から 3 ヶ月が過ぎましたので、この時点で、改めて、理事長の職務執行状況を報告いたします。

まず、本法人が円滑に運営されるよう、一方ならないご尽力とご指導を頂いた水野監査には本報告をもって深く御礼申し上げます。

現在、小幡評議員、小野寺隆評議員、佐藤評議員には本法人が法令遵守の下、公明正大なる財団運営を行うため、また堀理事、鎌田理事、細木理事等には本法人の目的を達成する、各事業を闊達に展開するため、特段のご支援などをお願いしております。結果として早期の公益財団法人化への道を歩むためへの特段のご尽力を、今後もお願いいたします。

次に、この当法人設立後の 3 ヶ月間の主な職務執行の状況をご報告申し上げます。

## 1 ホームページの開設について

本法人ホームページは、平成 28 年 8 月 1 日に開設し、現在、本法人が関与した第 13 回日韓知的障がい者サッカー交流大会札幌大会の写真などを公開しております。

ホームページアドレスは、<http://onoderashingo-zaidan.or.jp/>です。

今後、評議員会及び理事会の議事録も整理しつつ掲載してまいります。

## 2 道内知的障がい特別支援学校へのフットサル室内ゴール及びボールの寄贈について

比較的狭小な室内空間でもかつ、冬季間でも、動くボールへの注視能力を高めたり、ボールと体に位置を調節したり、また児童生徒同士の間人間関係を形成するため、フットサルは優れた教材と言えることから、北海道知的障害特別支援学校校長会松下会長のご尽力を頂き、道内 48 校の希望数等を把握して、40 校に対して希望する個数等を 10 月下旬から発送しております。

## 3 平成 29 年度開催の第 1 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会について

本大会を創設するため、北海道チャレンジドサッカー連盟秋川会長等に相談するとともに、北海道教育委員会及び北海道知的障害特別支援学校校長会との連絡・調整を行って、平成 29 年 7 月 28 日に開催することとして、1 年前の大会会場予約及び札幌から遠隔にある高等部校の生徒及び引率教員等が宿泊する宿舎予約を、7 月 29 日に終了しました。

大会会場は北海道青少年会館コンパス、宿舎は北海道青少年会館約 70 名分、札幌駒岡保養センター約 80 名分を予約しました。

## 4 北海道八雲養護学校への健康増進スポーツ活動への助成について

北海道八雲養護学校は、神経筋疾患（主として筋ジストロフィー）、重症心身障害などで隣接する「国立病院機構八雲病院」に入院している病弱児童生徒を対象とした特別支援学校です。筋ジストロフィーにより、児童生徒の多くは電動車いす、補助電動車いす、バギーなどで移動しています。その中で、体育館で長い柄のついたスティックを使ったフロアホッケーなど児童生徒の工夫により開発したスポーツ活動を行っています。このようなスポーツ活動の工夫等に必要な教材・教具などを整えるため、10 万円を助成しました。

理事長 小野寺 眞 悟